

教員の業績				
職名		教授	学位	文学修士
氏名	カナ	アミモト ナオコ	役職名	
	漢字	網本 尚子		
1. プロフィール		お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)比較文化学専攻単位取得後退学		
2. 主な担当科目		文学、文章表現法		
3. 専門分野		中世文学、能・狂言		
4. 主な研究テーマ		狂言と中世の風俗や文芸との関係について		
5. 主な研究業績	著書	『What is 狂言 改訂版』檜書店、2017(共著)		
		『能・狂言を学ぶ人のために』世界思想社、2012(共著)		
		『新版日本語表現法』アイ・ケイコーポレーション、2012(共著)		
		『ビギナーズ・クラシックス 謡曲・狂言』角川学芸出版、2010		
		『狂言三人三様 野村萬斎の巻』岩波書店、2003(共著)		
		『狂言ハンドブック』三省堂、1995(共著)		
	論文	「新作狂言と狂言普及活動に関する現状と展望」『能楽の現在と未来』(能楽研究叢書5)所収、法政大学能楽研究所、2015、11		
		「狂言における伯父の特徴と役割」『富士論叢』第58巻1号、2013、11		
		「狂言「宗論」試考」『富士論叢』第57巻1号、2012、11		
		「狂言に描かれた花―「真奪」の考察を中心として」『富士論叢』第56巻1号、2011、11		
		「狂言「朝比奈」と閻魔物狂言形成に関する一考察」『富士論叢』第55巻1号、2010、12		
		「夫婦物狂言にこめられた意図―「岡太夫」「髭櫓」を中心として」『お茶の水女子大学国語国文学会 国文』第114号、2010、12		
		「貞成のもとを訪れた芸能者たち」『看聞日記と中世文化』所収、森話社、2009		
		(研究ノート)「伯父が登場する狂言」『富士論叢』第52巻1号、2007、9		
		「狂言「文蔵」における二つの趣向」『富士論叢』第50巻2号、2006、3		
		「連歌を詠む狂言」『隔月刊 文学』第3巻2号、2002、3~4		
	「狂言と連歌の紐帯」『国文学』第43巻14号、1998、12			
	その他の研究活動	国立能楽堂公演プログラム、野村狂言座公演パンフレット等に演目解説執筆多数		
国立能楽堂公開講座、国立能楽堂定例公演、ござる乃座、狂言の和らい等、解説出演多数				
狂言の現代語訳字幕の作成 (経済産業省関東経済産業局「平成29年度商業・サービス競争力強化連携支援事業(新連携支援事業)」に採択された「伝統芸能における機動性の高い舞台解説の開発・事業化」)				
能楽対談「確信を持って」(野村萬斎との対談)『能楽タイムズ』2019、1				
狂言評「国立能楽堂新作狂言「鮎」」『能楽タイムズ』2018、2				
6. 所属学会		中世文学会、楽劇学会(理事)、能楽学会、お茶の水女子大学国語国文学会 芸能史研究会		
7. 主な社会活動、資格、その他		日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(伝統芸能分野)、令和4年度国立劇場事業調査委員		